

コロナ禍における地域活動支援ワークショップ開催結果 (令和4年度天白区コミュニティ交流会)



日時/場所	令和4年12月17日(土) 午前9時~正午/天白区役所 講堂
参加者	25名(平針北、原、植田東、八事東、高坂学区)
テーマ	地域活動実践集に掲載されている7つの地域課題の中から選択
内容	基調講演のあと、5つのグループに分かれて、悩みを共有して、解決に向けて意見交換しました。
総合ファシリテーター	(一社)地域問題研究所 池田 哲也 氏
基調講演	名古屋市立大学 准教授 三浦 哲司 氏 「地域活動のこれまで・これから」

1 基調講演：名古屋市立大学 准教授 三浦 哲司 氏 「地域活動のこれまで・これから」

(1) 地域活動のこれまで(地域活動の現状)

担い手不足(社会参加の増加など)+新たな地域課題の顕在化・多様化:複雑化(防災、高齢者見守り、空き家問題)さらにコロナ禍による影響

(2) 地域活動のこれから

ア 他の成功事例を活用

地域ごとに抱えている事情や悩みは異なるため、ある成功した事例がそのまま活用できるとは限らないが、アップデートして実行

イ 二つの方向性を検討

(ア) 現在の人員で活動を継続⇒人員に照らして、どのような活動量をこなしていくか⇒優先順位付け

(イ) 従来の活動量を維持する⇒どのような活動を担う人材を、何人ほど確保するか⇒ICT や外部人材の活用なども検討

2 グループワーク

Keyword

平針北学区

楽しくて、つい参加したくなる

テーマ 担い手づくり、魅力づくり

- 方策
- ・人材バンク(地域活動実践集掲載)の活用
(どのように人材の情報を集めるのかが課題)
 - ・裾野を広げるため、町内会加入促進
(コンサル等外部の力を活用して情報発信、インセンティブ付与)
 - ・中学生等を活用、中学校区単位で合同イベントの実施で負担軽減

Keyword

植田東学区

地域の自然を有効活用

テーマ:魅力づくり(天白川を安心して歩ける空間にする)

- 方策
- ・天白川のいいところ
桜がきれい、花壇がある(愛護会)、歩道が広い、
樹木が日陰をつくる、ピオトープがある
 - ・より活かすために…
電灯、防犯カメラの設置、除草、自転車安全対策等を実施して、歩きやすくする
フェンスや樹木をなくして、河川との親和性確保
花壇の灌水用水栓の設置

Keyword

八事東学区

助け合う関係性の醸成

テーマ:助け合う関係性づくり

(担い手、参加促進、情報発信)

- 方策
- ・健康で時間に余裕がある高齢者をいかに活用するか
高齢者がボランティア活動する姿を見ることによって、
若い人の参加率アップを
 - ・町内会加入促進
活動の可視化(HP作成検討(作成者を学区内から公募))

Keyword

原学区①、高坂学区

学区・地域に関心をもってもらおう

テーマ1 担い手づくり

- 方策
- ・担い手不足の原因は…
メリットがない、何をやっているかわからない
 - 活動の可視化(HP活用)、知り合いからの声かけ
 - ・特に若い人の参加を促すために…
ICT活用、インセンティブ付与、負担軽減(行事ごとのボランティア活用)

テーマ2 魅力づくり

- 方策
- ・ちょっとした行事の工夫で参加者増加
夏祭りのやぐらを低くしたことで、子どもをやぐらに
載せて写真撮影する保護者が増えた
 - ・公園愛護会の活動(活動の拡大・発展)
発足⇒ラジオ体操の会と一体化⇒小学生による樹木の名札付け
 - ・人と人がつながるイベント(餅つき大会等)の企画

Keyword

原学区②

時代に合った団体運営

テーマ:担い手づくりのための参加促進

- 方策
- ・裾野拡大のため、町内会加入促進
 - 負担軽減(アウトソーシング(子ども会には制度あり)
やプロボノ*)も併せて検討
 - ・イベント(清掃活動、趣味の会、防災訓練)の参加者へ
の声かけ
 - 併せて検討:新規イベントを企画(学区内にある大学や高校と連携)し、
SNSを使っでの広報し、若い人の参加を促す

※自らの職業によって培った専門スキルや知識を使った社会貢献・ボランティア活動を行うこと

ここだけで終わらないように、明日以降
実行委員会等を作って、取り組んでいこう!

3 講評・まとめ

- ① やらされ感ではなく、参加したい、やってよかったと思えるような地域活動
- ② 情報発信、見える化の重要性(誰にどのような内容をどのような方法で伝えるか)
- ③ 運営改善(有償ボランティア、学区による表彰制度、運営のアウトソーシング)

